

# 市民の皆様 おめでとう

明けましておめでとうございます。市議会を代表いたしまして、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

新世紀を迎えた昨年は、IT不況、同時多発テロ、企業倒産、リストラ、失業、構造改革などに、厳しい社会状況を反映した言葉が毎日のように報道され、発表される景気の指標は先行きが不透明な状況を示し、国全体に不況の嵐が吹き荒れました。このような中で、皇太子ご夫妻のお子さま誕生のニュースは国民に大きな喜びを与え、未来に明るい期待を抱かせるものであります。

本市にとっても昨年は、エコタウンフェアや種苗交換会など、市制施行五十周年を記念した数々のイベントが開催されるとともに、家電リサイクルの事業化、コンポストセンターの稼働など、新たな産業としてのリサイクル産業が本格化した節目の年となりました。また、地元雇用が大いに期待できる企業誘致も決まるという明るい話題があった一方で、長引く経済不況



議長 日景比内



の中、大館市のシンボルの存在だったしにせの正札竹村が倒産したことは、私を含め市民に大きなショックを与えました。

新たな年も厳しい経済状況が予想され、地方財政も一層厳しさを増すものと思われませんが、このようなときこそ、少子高齢化対策や市民に身近な社会資本整備に重点を置いた施策を積極的に進めるとともに、行財政改革の推進等、執行機関と協調しながら、市民の皆様の声にこたえるよう努力したいと決意を新たにしているところです。

時代の流れは確実に地方分権の実現に向かっております。地方議会にとっても今がまさに自己変革のときであり、議員個々の構想力、対応力が問われようとしています。自己決定・自己責任の原則の下、市民に信頼される議会を確立するためにも、市民ニーズを把握し、時代の変化を的確に読み取っていく必要があります。

真の地方分権に向けて今後とも努力してまいりますので、市民の皆様の一層のご支援をよろしく願います。